



写真 動画 有料会員向け

検索

毎日新聞社 総合案内 宅配申込 会員メニュー

トップ 社会 政治 経済 国際 サイエンス スポーツ オピニオン カルチャー ライフ 教育 地域 English 紙面ビューアー  
総合 大盛り北海道 いりやあせ名古屋 めっちゃ関西 オッショイ!九州 首都圏版

### 幻の銅...競歩3着の荒井が失格、ほかの選手を妨害

詳細

毎日新聞のアカウント

## 今、平和を語る

関連ニュースはこちら

### 戦後70年への伝言 哲学者・柄谷行人さん

毎日新聞 2015年10月26日 大阪夕刊

平和を考える

めっちゃ関西



哲学者の柄谷行人さん

#### 国連の機能、9条の実行で強まる デモや集会、直接行動捨てるな

国際連合が創設70年を迎えた。2度の世界大戦を防げなかった反省から国際平和への努力を宣言しているが、その機能を果たせていない。哲学者の柄谷行人さん(74)は、世界は「帝国主義的段階」に入ったと指摘し、哲学者カントの永遠平和の理念にもとづいている戦争放棄を掲げた憲法9条と国連の役割を今こそ見直すべきだと提唱する。「平和論が意味を持つ時代になった」と語る、柄谷さんに聞いた。

[PR]

――まず「帝国主義的段階」です。月刊誌「世界」(岩波書店)9月号に寄稿された「反復強迫としての平和」に、このように書かれました。<ヘゲモニー(覇権)国家が存在するとき、自由主義的段階である。ヘゲモニー国家が衰退し、多数の国が次のヘゲモニーの座をめぐる争う状態が、帝国主義的段階に入る。次に、ヘゲモニー国家が成立すると、自由主義的になる。したがって、自由主義的段階と帝国主義的段階は交互にあらわれる。そして、これは大体120年の周期で生じる>

新聞購読 お申し込み +500円で、デジタルも  
デジタル版へ PC、スマホ  
愛読者セット デジタル

新聞宅配申し込み デジタルみ

#### ピックアップ

- PR 住まいを探すなら、毎日新聞 SUUMO 住宅情報ナビで!毎週更新中。
- PR 【シニアライフ特集】介護・高齢い、相続、葬儀など備えておき公開中!

#### 話題の記事

#### アクセスランキング

Timeline 1時間 1日 1週間 SNS

毎時01分更新

- 106 SMAP解散 木村拓哉さんラジオで謝罪ごめん
- 2 Features・きょうの3 熱き人魚の血潮再び 10年表指導復帰 シンクロ・井村ヘッドコーチ(65)
- 1 五輪シンクロ 日本が3大会ぶりの銅 ロシ連覇
- 五輪競歩 荒井が3着 男子50キロ
- 五輪陸上 競歩 荒井接触し失格 3着 「妨害」判定

柄谷 私がいう帝国主義や自由主義は、ふつう世間でいわれている意味とは違うので、もう一度説明します。たとえば、18世紀ヨーロッパでは、経済的にヘゲモニーをもつ国家だったオランダが没落したあと、帝国主義段階に入った。そのとき起こったのがナポレオン戦争です。このあと、勝利したイギリスがヘゲモニー国家となり、自由主義時代が続いた。しかし、19世紀末には、イギリスのヘゲモニーが失われ、英・独・米国が争う状態が続いた。つまり、帝国主義段階に入った。通常、帝国主義と呼ばれるのはこの時代です。このあと、アメリカがヘゲモニー国家となり、自由主義段階に移行した。しかし、1980年以後、アメリカが経済的に没落し始めた。そして、次のヘゲモニーをめぐる争いが始まった。ゆえに、帝国主義段階に入ったといえます。

現在、アメリカは没落しつつあります。次のヘゲモニーを握るのは中国あるいはインドでしょう。ただ、その前に、資本主義そのものが終わってしまう可能性があります。はっきり言えるのは、ヘゲモニーをめぐる世界的な争いがこれから続くということです。世界は今、「帝国主義的段階」に入った。120年周期という観点からみれば、現在は120年前に似ているといえます。

--そのとき日本は、朝鮮半島をめぐる日清戦争（1894年）の渦中にありました。

柄谷 朝鮮王朝をめぐる日本と清朝との戦争ですね。この時期、清朝は巨大な帝国でした。120年後の現在、日中韓はその時と似た状況にあります。日清戦争の20年後に第一次世界大戦が起きたことを考えると、今こそカントの永遠平和論を見直すべきだと思います。カントがそれを考えたのは、18世紀末の帝国主義的状況においてです。その後、カントの平和論が読まれたのは、19世紀末です。日本でも詩人北村透谷がカント的平和論を唱えたのですが、日清戦争の始まる3カ月前に自殺してしまいました。カントの平和論を必要とする状況は、反復的なのです。

--カントは「戦争を起こさないための国家連合こそ、国家の自由とも一致する唯一の法的状態である」（「永遠平和のために」池内紀訳、集英社）と語り、柄谷さんの著書「柄谷行人インタビューズ2002-2013」（講談社文芸文庫）には、次の一文があります。<カントは人間の理性や善意が国際連合をもたらすのではなく、敵対性が、攻撃性がそれをもたらすのだといったのです。実際、第一次大戦後、さらに、第二次大戦後に、国際連合が不十分なものであれ、実現されています。戦争の結果です。それがカントのいう「自然の狡知（こうち）」というものです>

柄谷 カントは、その理念である「世界共和国」に至る現実的な第一歩として、フランス革命の後の戦争を予感して永遠平和論を書き、国家連合を提唱しました。カントの構想は2度の世界大戦を経て国際連合を生んだ。日本の憲法9条は、カントの永遠平和論にも

## 編集部のオススメ

### 「サザエさん」誕生70年

工夫凝らしたマンネリ今なおテレビアニメで人気

### 羽田新ルート 20年照準

羽田空港の国際線の発着枠を増やそうと、東京都心を低空で通過...

### 2016夏 会いたい憲法研究者 奥平康弘さん

表現の自由を守るために たえざる努力、次世代に

のマークについて

## 今週のおすすめ

### PR ムヒカさんへの手紙 作品集

ムヒカさんの言葉が詰まった本を 読んで感想を手紙に綴ってみませ

### PR 終活・シニアライフ特集

介護・住まい、葬儀、相続、認知症など完全網羅してわかり易く解説!

### PR マイナス金利時代を勝ち進む!

大阪資産活用セミナー8月28日参加者募集中

### PR 東海大学のいまを知る

<東海イズム> スポーツや音楽... 旬の話題はオピニオンで!

### PR 親子で考える土地活用と資産承継

セミナー参加者募集中! いま気になるトピックスをプロが解説し



とづくものです。それは決して単独平和主義ではなく、国連のような存在を前提としています。したがって、憲法9条は世界的に最先端に行くものです、もし本当に実行するならば。

--戦後70年を迎え、国連は無力化し、安全保障関連法で憲法9条は傷つきました。

柄谷 国連は2度にわたる世界戦争の結果として人類の大変な犠牲の上に成立したシステムです。帝国主義的段階に入った今こそ、憲法9条と国連を活用しなければ、人類の未来はあり得ないですよ。

--具体的には。

柄谷 憲法9条が明記している戦争放棄とは、軍事的主権を国連に譲渡するものです。それは「贈与」です。贈与には力があるのです。日本が憲法9条を実行するというを国連で声明すれば、それに賛同する国がどんどん出てくるでしょう。それによって国連を再編成していくことが、カントの説いた永遠平和への第一歩となります。

--そこで期待されるのは、安保法制に反対する大規模なデモを続けた若者たちでしょうか。

柄谷 私は60年安保闘争に参加しましたが、日米安保条約が自動成立すると、デモの参加者は虚脱状態になってしまった。しかし、今回はそういうことがないので、心強く思っています。



安全保障関連法の成立から1カ月を機にデモ行進し、同法の廃止を訴える参加者ら=京都市中京区で2015年10月19日午後7時、小松雄介撮影

--著書「政治と思想 1960-2011」(平凡社ライブラリー)に、こうあります。<個人が主権をもった主体として存在するために

は、どうすればよいか。それは割合、簡単です。直接行動、すなわち、議会選挙以外の政治的行為をもとめることです。つまり、それは、デモのようなかたちでのみ実現されると思います。議会選挙があるのだから、デモで政局を変えようとするのは、民主主義的でない、という人たちがいます。しかし、代議制だけならば、民主主義はありえない、それは、寡頭制になってしまいます>

柄谷 憲法21条に「集会・結社・表現の自由」とありますが、デモは集会に含まれるのです。デモが抑圧されるなら、集会が抑圧される。だから日本ではデモが必要です。脱原発を求めるデモ以来、デモをすることが根づいてきたと思います。集会・デモは、英語でいうと、アセンブリです。議会もアセンブリだから、元は同じなんですよ。デモも選挙も根は同じです。次の選挙は、争点を「憲法9条」に絞る。デモと同じように選挙をやればよい。そして、勝

利すれば、日本は世界で輝く国になり得ます。〈聞き手・専門編集委員、広岩近広〉 = 次回は11月30日掲載予定

■ 人物略歴

からたに・こうじん

1941年兵庫県生まれ。東京大経済学部卒業、67年に同大大学院英文学修士課程修了。法政大教授、近畿大教授、コロンビア大客員教授などを歴任し、批評誌「季刊思潮」「批評空間」を創刊。「定本 柄谷行人集」（全5巻 岩波書店）、「世界史の構造」（岩波現代文庫）、「世界共和国へ」（岩波新書）など著書多数。



広告

ページの先

ニュース総合

総合 速報 紙面掲載記事 デジタルプラス  
デジタル毎日スペシャル サンデー毎日

有料会員限定（愛読者プレミア/デジタル毎日）

経済プレミア 医療プレミア トクトクプレミア

社会	政治	経済	国際	サイエンス	スポーツ	毎日新聞のアカウント
事件・事故・裁判	政治一般	企業・産業	アジア・オセアニア	医療	野球	毎日新聞のアプリ
気象・地震	選挙	経済政策・財政	北米	科学・技術	高校野球	
話題	国会議員名鑑	マーケット	欧州	環境	社会人野球	紙面ビューアー iOS Android ニュースアプリ iOS Android
皇室			中東		サッカー	
訃報			中南米		ラグビー	索引・検索
人事			アフリカ		五輪	
					相撲	サイト内検索 記事データベース
					テニス	
					ゴルフ	媒体別リンク
					競馬	
					その他	The Mainichi ユニバーサロン 毎日まんがニュース 毎日プレミアムメール
オピニオン	カルチャー	ライフ	教育	地域	写真・動画	
社説	連載小説	おんなのしんぶん	受験	大盛り北海道	MAINICHI	毎日動画
余録	連載漫画	ライフスタイル	毎日小学生新聞	いりやあせ名古屋	PHOTOGRAPHY	
解説	芸能	食	15歳のニュース	めっちゃ関西		
コラム	将棋	ファッション	@大学	オッショイ!九州		
	囲碁	就職・転職	vote18	首都圏版		